



赤利根ジャーナル

2018
2



【前橋初市まつり】毎年1月9日に開催される、400年以上続く年初めの市、通称“だるま市”です。前橋八幡宮という神社で古だるまのお焚き上げが行われ、その火にあると一年間風邪をひかないと言われています。今年のだるま市では、口がへの字で可愛い手のひらサイズのだるまを購入し、今年一年の無病を願掛けしました。

前橋市議会「赤利根」とは？

赤城山の赤に利根川の利根であかとねと読みます。はるか昔からこの地を形成してきたその2大要素を中心に、前橋のさまざまな魅力を市民の皆様とともに考えて、市外、県外、海外に誇れるまちにしていきたい。この思いを実現していくために活動する会派です。



所属議員

岡 正己 (おか・まさみ)

1980年12月29日生まれ。前橋市出身、下小出町在住、まちなかが活動拠点のため事務所は千代田町。父は大利根町、母は富士見町のmade in 前橋の37歳。二児の父。

第4回定例会の報告

平成29年11月29日～12月21日

平成29年12月8日 総括質問二日目(20分間)

岡正己(赤利根)

※議員の発言内容は「読みやすさ」を意識し、一部割愛・編集している箇所がございます。

議事録は「前橋市議会議事録」としてウェブ上で公開されておりますのでそちらをご覧ください。

1. スポーツ振興について

するスポーツとシティプロモーションが大事



赤城山ヒルクライムのスタート地点

本市は、元日のニューイヤー駅伝を始め、高校野球、高校サッカーなどスポーツが盛んな都市です。県営の施設があり、都心からも近く、恵まれた自然環境もあります。本市の得意とする“するスポーツ”を前面に押し出し、来訪者に爽やかな体験をしてもらうことが大切なのではないでしょうか。

岡議員 「まえばし赤城山ヒルクライム大会」や「前橋・渋川シティマラソン大会」などの大型のスポーツ大会には、県内外から多くの方が訪れます。このようなスポーツイベントのホームページやメイン会場などで前橋市らしさを発信しながらシティ

プロモーションを行うことが必要だと考えますが、前橋市の現状と今後の対応について伺います。

文化スポーツ観光部長 スポーツイベントにおけるシティプロモーションの現状についてですが、ホームページ上で宿泊先や観光情報などを発信するとともに参加者に対して「まえばし tonton汁」や「焼きまんじゅう」、「きのこ汁」などを提供して本市の味覚を楽しんでいただいております。また、今後の対応といたしましては、ホームページ上で食文化や観光スポットの紹介等により、さらなる本市の魅力発信していきたいと考えております。

2. 赤城山観光について

赤城山のPRは、最終的に
中心市街地にも還元される



朝日と赤城大鳥居

赤城南麓がスローシティ協会(※1)に加盟しました。赤城と聞いてイメージするところはどこでしょう。人それぞれだとは思いますが、赤城山の山頂付近をイメージする方もいると思います。しかし、赤城山大沼ではモーターボートが走りカヌーやカヤックなどのスローシティを思わせるものがありません。

岡議員 赤城山の山頂については、県立赤城公園となっており民間活力による開発等もなかなか進まないように見受けられますが、時代の流れを読み観光資源を生かすのは行政の役割だと考えます。

文化スポーツ観光部長 確かにそのような現状はありますが、赤城山の無秩序な乱開発を防ぎ、豊かな自然環境が残されているという側面もあると考えられます。

岡議員 先日参加しました「平成29年度赤城山交流事業」の中でも赤城山に来ている人は南関東からが最も多いと聞きました。地域間競争が激しくなっていく今後、さらなる行政のリーダーシップが期待されると思います。

文化スポーツ観光部長 キャンプ場やビジターセンター、トイレの改修などの要望を県に提出しています。また、本市としてはDMO候補法人(※2)や地元観光連盟等と連携して赤城山ツーリズムを推進してまいります。

※1 地域の食や農産物、生活、歴史文化自然環境を大切にした個性・多様性を尊重するまちづくり。イタリア・オルビエート市などが発祥の地。

※2 観光地経営の視点で観光地域づくりの舵取り役を担う法人。

3. 官民連携について

10年後の未来のために
「新しい価値の創造都市」の市民周知を



広瀬川河畔に建設中の太陽の鐘

第七次総合計画の政策方針でも、市民、企業・団体、行政それぞれが、『他人ごと』ではなく、『自分ごと』として、地域の課題を捉え、自主的・自立的に、また連携して社会課題の解決に取り組むことの重要性が、「地域経営」というキーワードとして掲げられ、官民連携の重要性が示されています。

岡議員 様々な人たちが垣根を越えて関わりコラボレーションしていくことが、まちの創造性につながり、将来都市像である「新しい価値の創造」になることから、「都市魅力アップ共創推

進事業」などの官民連携を今後も積極的に進めていくべきと考えます。

政策部長 これらの活動は本市の強みであると考えており、今後も推進していきたいと考えております。

岡議員 前橋の発展を目指し官民が同じ方向に向かって進むために、昨年の8月に発表した前橋ビジョンや、今回策定する第七次前橋市総合計画を生かすべきです。

政策部長 連携にあたっては、それぞれが同じ問題意識や目標を持つことが必要。今後具体的な共有方法について検討していきたい。

4.第七次前橋市総合計画について

新しい価値を創造するには問いかけが必要



アーツ前橋で作られた小学生参加型の作品

岡議員が第七次前橋市総合計画（※）案について9月定例会で、「新しい価値を創造するのにアートやベンチャーなどの項目が見当たらない」と指摘した部分が、重点施策の中の第1章「人をはぐくむまちづくり」に反映されていました。

岡議員 アーツ前橋などの文化施設を通して新しい価値の創造が行われることを期待しています。ただ、成果指標の中の、アーツ前橋の主催事業に参加する学校数の目標が平成32年に8校と、現状の3校増に止まっており、その目標が少々低いのではと感じてしまいました。

政策部長 より適切であると判断した成果指標をそれぞれ設定しており、その妥当性や実現性についても、各事業を所管する所属と協議を行い精査したものです。目標値が低いとの

ご指摘については、事業の進捗状況や成果指標の達成状況を勘案し、上方修正も含め適宜検討を行います。

岡議員 全国都市問題会議でパネルディスカッションのファシリテーターをしていた早稲田大学の後藤教授が「アートは問いかけでデザインは答えだ」と仰っていました。新しい価値を創造するためには問いかけが必要。またその問いかけに応えなければなりません。行動指針が「未来の責任を持つ」となっている以上、この新しい価値の創造が机上の空論ではなく、子供たちの力を養い前橋の未来を託せる存在になることを期待します。※まちづくりの基本理念や将来都市像、政策の方向性、具体的な施策などを総合的、体系的に取りまとめたもので、平成30年度（2018年度）からの10か年の計画です。

市議会とは？

その3

市議会の運営

議会はいつも開かれているわけではなく、一定の時期に開かれる「定例会」と必要に応じて開かれる「臨時会」があります。

前橋市の場合、定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）開かれることになっています。

○本会議

本会議は議案などを審議し、議会の最終的意思を決定する最も重要な会議です。議員はここで市長から提案

理由の説明を受けたり、質問、意見などを述べたりします。

○委員会

議会の意思は本会議で決められますが、市行政の事務は幅広く複雑なため、本会議で詳しく審議することは能率的ではありません。そのためいくつかの委員会を設け、そこで専門的に下審査、協議などを行います。委員会には常任委員会、議会運営委員会、特別委員会があります。

*常任委員会

議会に常設されている委員会で、前橋市議会には総務、教育福祉、市民経済、建設水道の4委員会があります。議員はいずれかの委員会に所属しています。

*議会運営委員会

議会の運営上の諸問題などについて調査や協議を行い、議会を円滑に運営するため設置されています。

*特別委員会

内容が多方面に及んでいたり、特殊な問題などを審査する場合、必要に応じて設けられる委員会です。



総務常任委員会での岡議員の様子

赤利根
ジャーナルの
キーワード

ひらく
OPEN

市議や議会の動きを「見やすく・参加しやすく」します。

共有する
SHARE

会派「赤利根」と所属市議の「想い・感覚・体験」をあなたと共有します。

実行する
ACTION

「前橋を自慢できる都市」にするためのアクションを促します。

PICKUP

日々の活動報告



①



②



③



④



⑤



⑥

- ①**第79回全国都市問題会議** 全国の市長・議員ら約2000人が沖縄県立武道館に。基調講演と開催市である那覇市の主報告と3件の一般報告を聴き、全国の課題を共有することができました。
- ②**平成29年度関東国道協会研修会** テーマは「自動運転がもたらす未来へのみちづくり」。1年後には全国で初めて自動運転で公道を走る路線バスとして営業運転する予定とのこと。
- ③**第25回萩原朔太郎賞贈呈式** 萩原朔太郎賞は、今年で25回目の優れた現代詩に与えられる賞。受賞者の岡本啓さんとお話ことができました。「詩は前橋の文化だ」。
- ④**大阪視察** ハローライフさんを訪問。民間のハローワークの

ようなイメージ。求人記事とイベント・スクールなどを運営しています。地方の仕事の需要と供給をうまくつなげる仕組みが必要。

⑤**いわきFCパーク** ビジョンは「スポーツを通じていわきを東北一の都市にする」。大倉社長の言葉からは、よそ者の私でも応援したくなるような覚悟を感じます。

⑥**全国高校サッカー選手権大会決勝戦** 前橋市議会議員有志の皆様と応援に。41,337人の大観衆。ザスパクサツ群馬の年間集客の約半分が1日で集まっていました。日本一の瞬間に立ち会え感無量でした。

AKATONE NEWS

平成30年第1回定例会開催予定

どなたでも傍聴できますので、市議会の様子をぜひご覧ください。

- 2月28日(水) 本会議(初日)
 3月8日(木) 本会議(総括質問一日目)
 3月9日(金) 本会議(総括質問二日目) ※赤利根 質問予定
 3月27日(火) 本会議(最終日)

※本会議の傍聴は議会庁舎5階の議場入口で受け付けます。
 ※手話通訳を希望される場合は、傍聴希望日の7日前までに下記へご連絡ください。

前橋市議会 赤利根
 〒371-8601 前橋市大手町二丁目12-1
 電話 090-3510-6113

